

2014年度（第29回）レーザ安全スクールを実施

当協会は、第29回レーザ安全スクール第1期を2014年10月6日～10月10日、第2期を11月17日～21日に東京・芝の機械振興会館にて実施した。

本スクールはレーザ機器の普及に伴う機器取扱者の障害事故の発生を未然に防止するため、1983年に「レーザ機器導入・安全取扱い講習会」としてスタートし、時代の変遷に伴い「レーザスクール」、「レーザ安全スクール」と改称し現在にいたっている。内容も日本工業規格であるJIS C 6802「レーザ製品の安全基準」および関連する個別規格の制定毎に見直しを計り、日本工業規格および厚生労働省・基発第0325002号「レーザー光線による障害の防止対策について」等を網羅した内容となっている。

今回も見直しを計り、光加工、光通信、レーザ医療等の各分野に従事するレーザ機器取扱者の障害事故の発生を未然に防止するために最新のものとし、社会の要請に応えたものとした。

受講者数を各コース別に下表に示す。第1期と第2期の合計で受講者数は637名（前回586名）、参加企業・団体数は148社（前回138社）であった。

円安およびアベノミクス効果で景気回復の中での開催となり、参加人数、参加企業数とも増加となったが、今後レーザ製品がより広範囲な分野で導入されて行くものと予測され、益々レーザ製品の取扱いに従事する方も増加していくものと考えられる。

レーザ安全スクールコース別受講者数（単位：名）

コース名	第1期	第2期	合計
I コース：光・レーザ入門	49	—	49
S1 コース：レーザ工学の基礎	34	67	101
S2 コース：レーザ安全の基礎	79	121	200
S3 コース：レーザ応用機器の安全	29	53	82
S4 コース：大出力レーザ機器の安全	44	55	99
M1 コース：レーザ安全管理者	65	—	65
M2 コース：レーザ安全技術者	—	41	41
合計	300	337	637